関西団地軟式少年野球

第102回中央決勝大会

準決勝（7日、神戸学園第一グラウンド）

主催　デイリースポーツ
　　　関西団地軟式少年野球連盟
後援　都市再生機構
　　　URコミュニティ
協賛　内外ゴム
　　　オリックス野球クラブ

逆転勝ち!! 春夏連覇へ

晴美台タイガース 王手

14日決勝

桃山台少年野球部（泉北）0010000―1
晴美台タイガース（泉北）000014×―5

（桃）北村、古籐、北村、古籐、北村―岩下（晴）是洞、大川―清家
▽二塁打　大川、村井（晴）

準決勝1試合が行われ、春夏連覇を目指す晴美台タイガースが決勝進出を決めた。竹城台少年野球クラブがチーム事情により棄権したため、初優勝を狙う西南エンデバースと激突する。決勝は、14日に神戸学園第一グラウンドで行われる。

▶2安打の活躍をみせた晴美台タイガース・大川

大川「ヨッシャー！」千金適時打

こん身のガッツポーズが苦しい試合展開を物語っていた。春夏連覇を狙う晴美台タイガースが、逆転勝ちで決勝への切符をつかみ取った。

三回に失策で先制点を与える悪い流れを変えたのは2番・大川。五回、2死二、三塁の好機で「回ってこいと思っていた。どうしてもかえしたかった」と、同点となる右前適時打。塁上で拳を力強く握り「ヨッシャー！」と叫んだ。

普段の試合では、感情を表に出さないタイプ。だが、試合前に監督やコーチから「今日は叫んでもなんでもいいから元気を出していけ」と言われ、素直に喜びを表現した。

決勝に向け大川は「いつもみたいにみんなでつないで点を取って圧勝したい」と意気込む。偉業まで、あと1勝―。大舞台でも闘志を前面に出したガッツポーズをさく裂させる。

5回、マウンドに集まる桃山台少年野球部ナイン

北村好投も悔し

〈桃山台少年野球部〉

好投したエースだったが、ピンチでの投球に悔いが残った。先発の北村が四回まで無失点。五回の先頭からマウンドを譲ったが、その後のピンチで再度登板。四球と安打で同点にされ「フォアボールを出したことが負けにつながりました」とうなだれた。ベスト4まで進出した今大会。「投球に関しては自信がつきました。打撃では結果を残せなかったので練習します」と今後に向けレベルアップを誓った。

【桃山台】		打	安
⑨	新田	3	0
①（6回1）	北村	3	0
②	岩下	3	0
⑤（1回5）	古籐	3	0
④	竹田	2	0
③	大仲	2	0
H	藤原	1	0
⑥（5回6）	[illegible]本	3	0
⑦	士田	1	0
H	藤江	1	0
⑧	加納	1	0
	計	23	0

【晴美台】		打	安
①6	星桐	3	2
⑧1	大川	4	2
②	清家	2	0
⑦	田横	3	0
③8	村井	2	1
⑥5	川口	2	1
⑤4	坂下	3	0
⑨	大豊	2	0
④8	古川	2	0
3	岡野	0	0
	計	23	6